

出雲市全体 業種別景況（令和2年7月～令和2年9月期）

《全業種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	35.5	28.5	36.0	△ 0.6	10.1	17.2	72.8	△ 62.7	25.4	41.4	33.1	△ 7.7
2 採算（経常利益）	24.9	41.0	34.1	△ 9.2	9.5	27.2	63.3	△ 53.8	19.3	49.4	31.3	△ 12.0
3 資金繰り	11.2	66.5	22.4	△ 11.2	7.2	56.6	36.1	△ 28.9	6.6	71.1	22.3	△ 15.7
4 従業員（含臨時・パート）	6.5	78.0	15.5	△ 8.9	11.5	72.1	16.4	△ 4.8	6.6	85.5	7.8	△ 1.2
5 商品（製品）在庫	3.8	77.1	19.1	△ 15.3	5.2	70.3	24.5	△ 19.4	5.8	80.6	13.5	△ 7.7
6 業況（自社）	19.8	47.1	33.1	△ 13.4	7.1	36.9	56.0	△ 48.8	14.1	57.6	28.2	△ 14.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	34.9	1.5	7.5	31.3	26.9	10.4	16.4	6.0	65.1
2 来 期	34.6	3.1	17.2	28.1	23.4	7.8	17.2	3.1	65.4

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	66.9	6.3	4.6	9 金利負担の増加	0.6	2.1	2.8
2 新規参入業者の増加	1.2	3.5	3.7	10 代金回収の悪化	0.0	1.4	2.8
3 単価の低下・上昇難	4.2	20.4	7.3	11 事業資金の借入難	0.0	2.1	0.9
4 材料（原材料）等の入手難	0.0	1.4	2.8	12 従業員の確保難	9.6	12.7	11.0
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	1.8	9.2	6.4	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.4	17.6	20.2
6 人件費の増加	6.0	14.1	11.0	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	1.2	3.5	6.4
7 仕入・人件費以外の経費の増加	3.0	3.5	12.8	15 その他	2.4	0.7	2.8
8 商品（製品）在庫の過剰	0.6	1.4	4.6				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

《建設業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	25.0	45.8	29.2	△ 4.2	8.3	41.7	50.0	△ 41.7	20.8	45.8	33.3	△ 12.5
2 採算(経常利益)	16.7	62.5	20.8	△ 4.2	4.2	58.3	37.5	△ 33.3	4.5	68.2	27.3	△ 22.7
3 資金繰り	0.0	91.7	8.3	△ 8.3	0.0	87.5	12.5	△ 12.5	0.0	87.0	13.0	△ 13.0
4 従業員(含 臨時・パート)	4.2	75.0	20.8	△ 16.7	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	0.0	83.3	16.7	△ 16.7
5 商品(製品)在庫	0.0	94.1	5.9	△ 5.9	0.0	94.1	5.9	△ 5.9	0.0	93.8	6.3	△ 6.3
6 業況(自社)	8.3	66.7	25.0	△ 16.7	0.0	75.0	25.0	△ 25.0	0.0	70.8	29.2	△ 29.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	40.7	0.0	9.1	9.1	36.4	9.1	36.4	0.0	59.3
2 来 期	39.3	0.0	18.2	18.2	27.3	9.1	27.3	0.0	60.7

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	45.8	5.6	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	13.3	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.2	38.9	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	20.8	33.3	6.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	0.0	6.7	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	5.6	20.0
6 人件費の増加	16.7	5.6	33.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	5.6	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	12.5	5.6	20.0	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

・民間建築の受注不調。

《製造業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	25.0	30.6	44.4	△ 19.4	2.9	11.8	85.3	△ 82.4	38.2	32.4	29.4	8.8
2 採算(経常利益)	22.2	38.9	38.9	△ 16.7	5.9	20.6	73.5	△ 67.6	35.3	38.2	26.5	8.8
3 資金繰り	11.4	65.7	22.9	△ 11.4	3.0	51.5	45.5	△ 42.4	9.1	69.7	21.2	△ 12.1
4 従業員(含臨時・パート)	5.6	83.3	11.1	△ 5.6	2.9	79.4	17.6	△ 14.7	11.8	82.4	5.9	5.9
5 商品(製品)在庫	8.3	75.0	16.7	△ 8.3	14.7	67.6	17.6	△ 2.9	11.8	76.5	11.8	0.0
6 業況(自社)	14.3	45.7	40.0	△ 25.7	3.0	27.3	69.7	△ 66.7	24.2	45.5	30.3	△ 6.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今 期	33.3	0.0	7.7	61.5	15.4	0.0	15.4	0.0	66.7
2 来 期	43.9	5.6	22.2	44.4	0.0	11.1	16.7	0.0	56.1

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	83.3	3.2	0.0	9 金利負担の増加	0.0	3.2	4.3
2 新規参入業者の増加	0.0	3.2	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	25.8	4.3	11 事業資金の借入難	0.0	3.2	4.3
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	5.6	16.1	13.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	9.7	13.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	5.6	9.7	30.4
6 人件費の増加	2.8	16.1	0.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.8	3.2	8.7	15 その他	0.0	0.0	4.3
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	6.5	17.4				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・平成26年頃までが悪く、ようやく業況が良くなったので推移続行を謙虚に頑張るだけ。コロナは無関係。
- ・前期に比べ観光客が増加してきた。長雨の影響で野菜が異常な高値で採算が合わなかった。
- ・9月下旬広島市の水産加工商社より商談があり成立。広島のスーパで山陰フェアを開催している会社を対象に声掛けをしているとのこと。
- ・コロナの影響による受注減は、5月を底に少しずつ回復している。9月で6割程度、10月・11月で8割程度まで回復する見通し。
- ・パナソニックの太陽光発電関連事業を行っているが、量産製品ではないのが救い。国内需要は必然的にダウン気味。海外部品の調達ができるようになったのに残念。
- ・コロナウイルスの影響が深刻化しており、先行きの不透明感が増している状況。
- ・容量の少ない商品の動きが良い一方で、業務用の一升瓶の動きが悪い。
- ・前年度行われたイベントが全て中止になり、弁当等の別注がなくなった。
- ・7～9月より、10～12月は生産量アップになりつつも、コロナの終息が見えないため、先のことは不透明（車輛部品は生産量が増えつつある）。
- ・製造業の機械制作のメーカーが、かなり輸出がこたえている。雇用調整が続いている。
- ・コロナにより、web会議を取り入れ移動時間を有効に使えるようになった。
- ・コロナの影響は大きく需要が戻らない。得意先より今後の状況も厳しいとの情報。
- ・10月から受注が戻りつつある。

《卸 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	31.3	43.8	25.0	6.3	12.5	37.5	50.0	△ 37.5	31.3	43.8	25.0	6.3
2 採算(経常利益)	18.8	56.3	25.0	△ 6.3	6.3	37.5	56.3	△ 50.0	12.5	56.3	31.3	△ 18.8
3 資金繰り	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	12.5	43.8	43.8	△ 31.3	6.3	62.5	31.3	△ 25.0
4 従業員(含 臨時・パート)	6.7	80.0	13.3	△ 6.7	13.3	73.3	13.3	0.0	6.3	87.5	6.3	0.0
5 商品(製品)在庫	13.3	60.0	26.7	△ 13.3	6.7	60.0	33.3	△ 26.7	6.3	68.8	25.0	△ 18.8
6 業況(自社)	18.8	56.3	25.0	△ 6.3	6.3	37.5	56.3	△ 50.0	12.5	56.3	31.3	△ 18.8

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	33.3	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	16.7	66.7
2 来 期	7.1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.9

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	62.5	0.0	10.0	9 金利負担の増加	6.3	6.7	20.0
2 新規参入業者の増加	6.3	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	6.7	10.0
3 単価の低下・上昇難	6.3	13.3	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	6.7	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	0.0	0.0	12 従業員の確保難	6.3	6.7	30.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	6.3	13.3	0.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	13.3	10.0
6 人件費の増加	0.0	20.0	0.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	13.3	20.0	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	6.3	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・期末の受注は大幅に減少する模様。
- ・コロナウイルスの売上への影響は徐々に回復傾向にあるが、見通しはつかない状況。
- ・6～8月上減、9月に体調不良、10月廃業。
- ・式場、宴会場、居酒屋苦戦。レストラン等昼開店の店は各種プレミアムチケットで徐々に回復基調。今後のイベント開催有無が売上達成可否で影響。
- ・9月は前年比50%、4連休で80%まで回復するが、見通しはまだ厳しいというのが業界の見方。

《小 売 業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	46.8	14.9	38.3	8.5	19.1	6.4	74.5	△ 55.3	19.6	39.1	41.3	△ 21.7
2 採算(経常利益)	25.0	39.6	35.4	△ 10.4	21.3	27.7	51.1	△ 29.8	15.6	53.3	31.1	△ 15.6
3 資金繰り	14.6	60.4	25.0	△ 10.4	14.9	55.3	29.8	△ 14.9	4.3	70.2	25.5	△ 21.3
4 従業員(含 臨時・パート)	8.7	82.6	8.7	0.0	19.6	73.9	6.5	13.0	8.9	88.9	2.2	6.7
5 商品(製品)在庫	2.1	70.8	27.1	△ 25.0	4.2	62.5	33.3	△ 29.2	4.3	78.7	17.0	△ 12.8
6 業況(自社)	29.8	34.0	36.2	△ 6.4	17.0	31.9	51.1	△ 34.0	17.0	51.1	31.9	△ 14.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	33.3	5.6	11.1	27.8	16.7	11.1	16.7	11.1	66.7
2 来 期	41.2	4.8	14.3	28.6	33.3	4.8	9.5	4.8	58.8

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	61.4	9.8	9.4	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	7.3	3.1	10 代金回収の悪化	0.0	2.4	0.0
3 単価の低下・上昇難	4.5	19.5	6.3	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	2.4	9.4	12 従業員の確保難	13.6	9.8	0.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	4.5	9.8	3.1	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.3	14.6	25.0
6 人件費の増加	4.5	12.2	9.4	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.3	7.3	18.8
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	2.4	9.4	15 その他	6.8	2.4	3.1
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	3.1				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・シルバーウィークはとてもお客様が多かった。
- ・コロナウイルスによる観光客数減少。
- ・gotoキャンペーンの影響で徐々に大社が賑やかになってきた。今期は各種クーポン券・商品券を使う方が多かった。
- ・コロナウイルス需要として依然衛生用品が好調。また、食品では家での食事から精肉部門の焼肉が好調。レジャーの木炭、BBQ、コンロ、チェアー等の用品も好調に推移。家庭内での贅沢品が好調。
- ・コロナの影響で減収でしたが、人件費等が時短でかからなかった分、経費が減少し最終決算で増益。
- ・コロナによる一般顧客の買い控えが徐々に高まり、新車販売の減少と下取中古車の在庫減が発生し、中古車仕入れが高くなってきて利益減少。
- ・不況。積極的に商業活動ができる状況ではない。
- ・関東、関西方面、コロナウイルスで仕入に出れず、良い商品の入荷少々難あり。
- ・自動車業界においてはコロナウイルスでは後押しの効果があったように思う。冬場で需要の低下が予想されるため10月からの売上低下が予測される。
- ・熱中症対策により冷風機受注増。各大会中止。
- ・イベント等が無くなり、一時は売上が下がってどうなるかと思ったが、夏に少し盛り返したので、今はややホッとしているが秋の予約が入ってこないの少し不安。
- ・営業（商品紹介）不調。
- ・野菜の不作。観光客の減少。
- ・9月は9割くらいまで売上は戻ってきた。
- ・コロナの影響でお出かけの会がなくなり、当店の製品より普段用が求められるのではないかと思う。プライスを下げるのがいいか迷っている。
- ・コロナの防御のためのマスク着用で、メイク用品の購入がない。長い間、店頭に立てる状況であったのに、スキンケアの必要性などを顧客の方に伝えることができず残念。
- ・コロナの影響が長引き、年末年始も売上が望めない。
- ・コロナ影響大。（県外客なし。特にお盆、夏休み）

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	38.8	26.5	34.7	4.1	6.3	12.5	81.3	△ 75.0	22.4	46.9	30.6	△ 8.2
2 採算(経常利益)	32.7	28.6	38.8	△ 6.1	4.2	12.5	83.3	△ 79.2	20.4	42.9	36.7	△ 16.3
3 資金繰り	12.8	61.7	25.5	△ 12.8	4.3	50.0	45.7	△ 41.3	10.6	68.1	21.3	△ 10.6
4 従業員(含臨時・パート)	6.4	70.2	23.4	△ 17.0	8.7	69.6	21.7	△ 13.0	4.3	85.1	10.6	△ 6.4
5 商品(製品)在庫	0.0	85.4	14.6	△ 14.6	0.0	75.6	24.4	△ 24.4	4.8	85.7	9.5	△ 4.8
6 業況(自社)	20.0	48.0	32.0	△ 12.0	4.2	29.2	66.7	△ 62.5	12.0	66.0	22.0	△ 10.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	35.2	0.0	0.0	36.8	31.6	15.8	10.5	5.3	64.8
2 来 期	25.5	0.0	7.7	15.4	38.5	7.7	23.1	7.7	74.5

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	71.7	8.1	3.4	9 金利負担の増加	0.0	2.7	0.0
2 新規参入業者の増加	2.2	2.7	3.4	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	6.9
3 単価の低下・上昇難	6.5	10.8	17.2	11 事業資金の借入難	0.0	2.7	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	2.7	0.0	12 従業員の確保難	4.3	5.4	17.2
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	0.0	10.8	6.9	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.2	35.1	10.3
6 人件費の増加	6.5	16.2	13.8	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.2	2.7	3.4
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.2	0.0	13.8	15 その他	2.2	0.0	3.4
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・お盆帰省の自粛で盆商戦悪化。台風の通過や梅雨の長雨による海水浴客の激減で昨年より悪化。新型コロナでGo Toキャンペーンは開始したが客足は戻らない。特に温浴プール施設は厳しい。
- ・コロナの関係で収容人数を100%入れられない。
- ・飲食は徐々に好調に向かっているように思う。
- ・県外からの観光客は減少したが地元のお客様の利用が前年比で増加した。
- ・Go Toで客足遠のく。応援クーポンで少し息を吹き返したが、このクーポン最初からルールが徹底せず、9月28日に回収され僅かに残っていたが（3セット）当館のお客様に使って差し上げられず悲しい思いをした。回収する時期などを知らされていなかった。
- ・宿泊はGo Toで前年同期比95%まで回復。宴会は不調で前年同期比25~30%。
- ・コロナウイルスに関しては、これから永いスパンでの努力が必要。1日の来客数が減少しているが、来店のお客様の客単価（サービス・価値ある良品、衛生方面に気を付けて）が上がり、売上減少分が救われている。婚礼部門は来年に期待。スタッフは消毒等お客様毎の仕事が増加している。
- ・一切のイベント・祭の中止により浴衣・法被等（紅白等）需要が全くなかった。
- ・ネット系の仕事が激増した。特にHP作成やネット広告等。
- ・コロナウイルスの影響で売上減がまだ回復しない状況。
- ・コロナ対策の暮らしに徐々に慣れてきた。お客様が戻ってきてくれた感はあるものの、まだまだ増加は見込めない。久々に対外的にチラシを出し、新規のお客様を取り入れるための10月は準備中。
- ・コロナの影響による需要減が全業種に及び製造業の操業率が低下することによる社会移動の減少が観光・サービス（宿泊）業の稼働率を停滞させている。
- ・仕事がないこと、仕事への思い・気持ち・従業員の不安・金額・経済的だけでなく精神的ダメージ。好調なものはない。